

今年370号を超えた公民館報や公民館だよりは読んでいただいているのだろうか。どんな記事や交流事業に関心が高いのだろうか。神林の人たちの声を聞こうとアンケート調査票を各町会・常会役員にお手伝いいただき全戸配布・回収・集計しました。

住んでいる町会・年代・性別で分かるようにし、全体で915軒の方々から回答をいただきました。(町会加入世帯の75%)

その結果は表・グラフの通りです。

年代別では70代が最も多く290名、次に60代で189名、50代156名と続きます。性別では男性、女性、約半々です。

公民館報を読む方417名で46%・時々読む方399名で44%、9割の方が何らかの形で読まれています。また、5割の方が読み易いと評価で、難しいが5%・硬いが11%となりました。

最近の館報で「一番印象に残っている記事」では、広報や全市版の記事もありましたが、地域の歴史記事が一番多く町会行事や出来事が続きます。「どんな記事を読みますか」は町会の出来事が過半数を占めました。

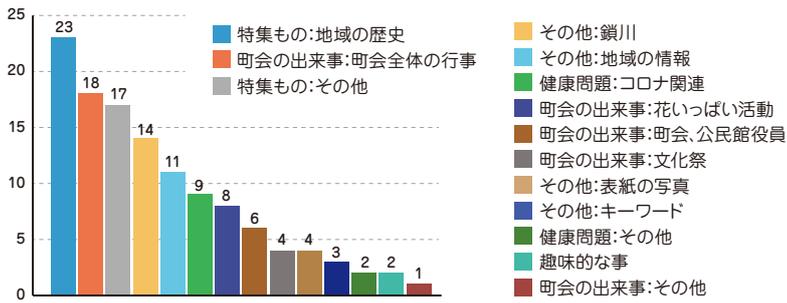
公民館だよりについては「読む」または「時々読む」方が約9割でした。

「神林全体で行う交流事業で何を望みますか」の問いに對



令和3年11月1日現在	総世帯数	2,009世帯
	総人口	4,826人
	男	2,369人
	女	2,457人

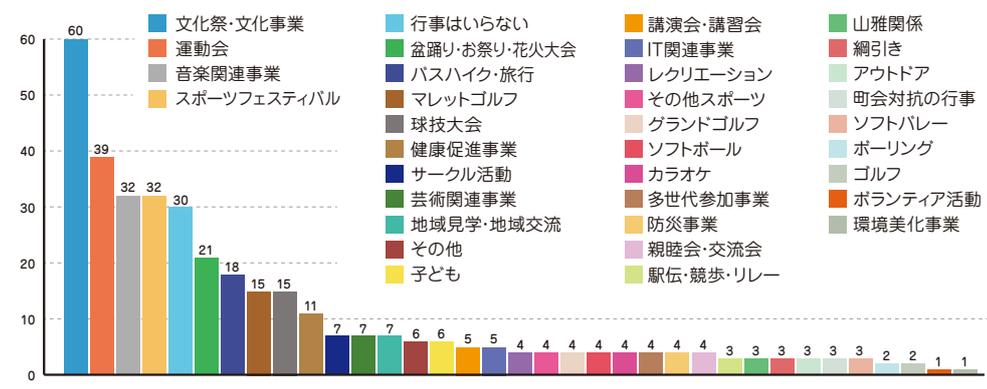
最近の公民館報で一番印象に残っている記事はなんですか



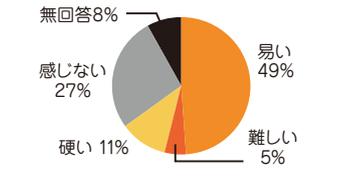
しては、「文化祭・文化事業」が最も多く、次いで「運動会」と根強い希望があり、その後スポーツフェスティバルなどのスポーツ関連、音楽関連事業を望む方々がいらつしやる一方、「行事はいらない」と言う方もおられました。

今回のアンケート結果に基づき、より良い館報紙面作りに努めていきます。回答いただいた皆様、回収にご協力いただいた皆様ありがとうございます。

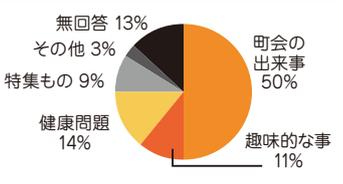
神林全体で行う交流事業で何を望みますか



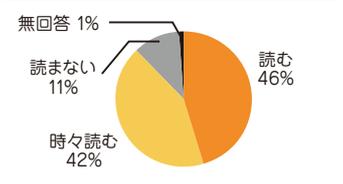
館報は読みやすいですか



どんな記事を読みますか



公民館だよりをあなたは



町会	町会加入世帯数	回答数(%)	年代別								性別		
			20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	男性	女性	無回答
川西	81	60 (74%)	0	0	9	18	10	20	3	0	35	25	0
川東	151	124 (82%)	1	8	16	24	30	32	13	0	62	59	3
寺家	164	130 (79%)	1	4	13	22	21	46	22	1	54	75	1
南荒井	301	224 (74%)	2	7	34	25	49	74	28	5	115	105	4
町神	198	152 (77%)	0	7	23	29	32	43	18	0	74	77	1
下神	219	148 (68%)	0	5	16	26	29	51	20	1	77	68	3
梶海渡	100	77 (77%)	0	3	7	12	18	24	9	4	40	36	1
全体	1214	915 (75%)	4	34	118	156	189	290	113	11	457	445	13

2年続けての 作品展展示会

コロナ禍で今年も第50回ふれあい文化祭ではなく作品展展示会となり、小雨模様なのなか「神林の歌」斉唱からスタートした。丸山大会長は「神林の歌が出来て百年、特に四番は村文化の広がり盛り返まれている素敵な詩です。益々このような会が充実していくことを期待します」と挨拶。

表彰式に入り、ポスターコンクール大会長賞の太田朝子さん(寺家、中学生)始め、連合会長賞3名、実行委員長賞3名、特別賞10名(公民館だよりに掲載済み)、公民館功労賞として前公民館長塩原秀俊さん(川西)に賞状と記念品が授与された。



大会長賞を貰った太田朝子さんは「埼玉から転校し、周囲の印象と朝日が昇る所を絵柄にした」と話した。



展示会風景はというとこの日入場者数228人うち実行委員36人で、作品は保育園児絵が年少、年中、年長で60点、習字18点、フォトクラブ20点、ボールペン字15点、俳句教室から32点、福祉のろぼから手芸品、お手玉作り、折り紙、大人のぬり絵、墨絵、刺し子、趣味の会のカバン、絵手紙の会から数点、このほか個人持参の胡桃細工、震災木材で加工した七福神と仏様の彫刻など110点にこの秋の市民体育大会で優勝した卓球とバレーボールの優勝杯が置かれていました。

では「この糸の使い方は簡単ではないのよ」「そうそう、かなり年季が入っているわね」とにこやかに談笑している姿があちこちで見られた。

全体的な感想は、「一か所に集めての展示は良かった」「書道の出品が少なく驚いた」「50回というふれあい文化祭はどうなるのかいね」「やはり吹奏楽や太鼓連の演奏が無いと寂しいね」「表の物売りが無いのはコロナ禍のせいかもしれないが出てくるのが億劫だよな」などの話しが聞けました。今回の参考に。



キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で5名に500円分の図書カードをプレゼント! 締切は12月28日(火)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】

ほしぞらかんさつ

【今回のキーワード】

〇〇〇〇〇〇

鎖川

日本の人口の推移については、減少局面を迎えている。現在の人口はおよそ1億2000万人。2060年には、総人口が9000万人を割り込むと推計される。これは驚きの数字だ。さらには、「高齢化率は40%近い水準になる」とも言われている。

縮みゆく日本の社会、経済成長の陰り。今までの「当たり前」が成り立たないことを認識しなければならぬ。今、子供たちは、探究学習に取り組んでいる。探究とは、自ら課題を設定し、情報を集め、整理・分析とまとめ・表現を行い、振り返りをして次につなげる学びのプロセスである。学習活動を通して、今ある諸課題に対して納得解を導き、明るい未来を切り拓くことができる人材が育つことを願うばかりである。

日本の社会が急激に変化して、先行き不透明な時代である。常に、柔軟な姿勢や考えを持ち、様々な視点で物事を捉えたい。現状維持ではなく、新たなことにも挑戦したり、何事にも「ピンチはチャンス」と考え折れない心を持ち強く歩みを進めなければならない。